

令和7年度 岩手県立千厩高等学校
第1回学校運営協議会 議事録

- 1 日 時：令和7年6月16日（月）14:40～16:10
- 2 場 所：本校 会議室
- 3 出席者：委員9名 事務局3名、オブザーバー生徒8名、オブザーバー職員1名 合計21名

〈委員〉 9名

大矢功喜（（株）一関 LIXIL 製作所 シニアアドバイザー）
小田島玄（県南広域振興局経営企画部 産業振興室長）
加藤博幸（PTA会長）
齋藤裕之（岩手県立千厩高等技術専門校 校長）
佐藤毅行（いわて平泉農業協同組合 千厩営農経済センター センター長）
千葉 圭（一関商工会議所千厩支所 支所長）
渡邊 淳（一関市教育委員会 教育相談員）
熊谷道仁（岩手県立千厩高等学校 校長）
岩渕 悟（岩手県立千厩高等学校 副校長）

〈事務局〉

高橋 亮（教務課主任）
松岡隆博（教務課）
平山隆一郎（生産技術科長）

- 4 欠席者：3名

〈委員〉千葉弘之（一関自動車学校（商工会代表））
〈事務局〉菅原秀彦（岩手県立千厩高等学校 事務長）
佐藤 大（岩手県立千厩高等学校 産業技術科長）

- 5 次第

- (1) 開会のことば（副校長）
- (2) 委嘱状交付（校長）
- (3) 校長挨拶

「お忙しいところ出席いただき感謝申し上げます。日頃より本校への御協力御支援ありがとうございます。本校はとても落ち着いており、生徒達の問題行動もとても少なく、落ち着いた学校生活を生徒たちは送っています。学校運営協議会は、人事権も持っています。これは、学校職員の定期人事異動の人事権ではなく、学校運営協議会で、学校に有益な地元にいる有望な人材を学校に紹介するなどといった人事権です。今年のオブザーバー生徒は、昨年度と変更し顔が見える形での対面形式をとらせていただいた。本日はよろしくお願いいたします。」

- (4) 自己紹介
- (5) 報告

ア 令和6～7年度学校概況（副校長）

- (6) 協議

- ア 会長及び副会長の選出
イ 議長選出
ウ 令和7年度学校経営計画（校長）→承認
エ 令和7年度スクール・ポリシー（校長）→承認
オ 働き方改革について（副校長）

【委員A】Q：会社ではエンゲージメントを行っているが、学校ではそのようなことは行っていますか。

A：エンゲージメントのようなことは行ってはいませんが、月1回働き方について3点ほど

職員に話をしています。学校現場では、どこからが残業なのか、あまり分からないのが実情です。

【委員 A】Q：企業は、昔と今は全く変化しています。

A：学校はブラック的な残業ではなく、残りたくて残っている先生もいます。放課後も生徒が居て、部活動や様々な活動がなされているので、逆に残って生徒の対応をして活力を得ることもたくさんあります。

→承認

(7) 学校運営協議会委員と生徒との連携

生徒から、千厩高校についてプレゼンが行われ、その後出席生徒一人ひとりから、学校の雰囲気や要望などの発言があった。

千厩高校の雰囲気

- ・生徒と先生が信頼しあっている。
- ・先輩と後輩の仲が良い。
- ・様々な学校行事が楽しめる。
- ・3つの学科が一つの学校に共存している。
- ・部活動の種類が豊富。

要望

- ・就職希望の生徒は、地元企業の方々と触れ合う場面がたくさんあるが、進学クラスは地元企業の方々と触れ合う機会がないので、その機会を作ってもらいたい。
- ・部活動後、暗い中を歩いて帰るので外灯を増やしてほしい。
- ・体育館、柔剣道場に冷暖房施設を入れてほしい。
- ・飲食物以外の購買を入れてほしい。

【委員 B】Q：先ほどの授業見学で体育館に入ったらとても暑かった。冷暖房は無理なのか。

A：県立学校では予算や経費の問題があり、なかなか設置は難しい。冬は、ジェットヒーターがあるので、ある程度寒さは緩和できるが、夏は青春の良い汗をかきながらの活動になります。

【委員 C】Q：息子は剣道部に所属しているので、武道場にシャワーが欲しいのとトイレが遠いと言っていた。袴を履いたままトイレが遠いと移動が大変と言っていたので。

A：お湯も出る個室のシャワーを改修し、生徒も使えるようにしている。この前の田植え大会でも生徒達が使っています。トイレについては、近くにはあるが動線の確保が必要です。

【委員 D】Q：先ほど生徒から話のありました進学する生徒にも企業の方と触れ合う機会を作っていきたい。生産技術科、産業技術科に入学してくる生徒達は、将来の就職先など見据えて入学してきているのか。本日出席のオブザーバー生徒は、みなさん普通科なので聞くことはできませんが…

A：10月のインターンシップでは、昨年度から普通科の生徒も参加させている。産業技術科に入学してくる生徒は、コアな生徒がいて、専門分野に対して非常に高い意識と興味関心を持って入学してくる生徒もいる。生産技術科については、将来必ず農業を行うために入学してくるというよりも、農業に関する知識技術や商業的な販売などを学び、自分の進路に結び付けながら学んでいる。

【委員 E】Q：千厩高校のキャラクタークワッパなど今はどうなっていますか。桑プリンなども含めてどうなっていますか。

A：クワッパは今も活用している。桑プリンも継続しており、松栄堂と協働して先日の TGC ichinoseki でケータリングとして提供した。桑マンや桑茶ラテも提供できるように研究しているが、販売まで学校ではできないのでどこか企業と連携できないものか、というのが課題。

【委員 F】Q：千厩高校は3つの学科があるが、その3科の交流はありますか。

A：昨年度2月3科一堂に会して、研究発表を行い、生徒達も他科ではどのような研究をされているか目の当たりにした。また学校行事を増やして、交流を多く持てるようにしている。

【委員 G】 Q：少子化、そして高校再編がありますが、中学生が高校に来て行う体験入学ではなく、高校生が中学校に行って学校の P R をすることはないのか。

A：近隣中学校 4 校くらいに産業技術科が伺って、出前授業を行った。

A：やはりその影響もあったのか、今年産業技術科には 3 4 名の生徒が入学した。

【委員 E】 Q：3 学科がせっかくあるので、3 学科で授業での交流はできないものか。また、学校内での編入例えば普通科から生産技術科などできないものか。

A：編入についてはカリキュラムの関係もあるので難しい。しかし、授業での 3 学科の交流は良いアイデアだと思う。

【委員 A】 Q：卒業後の就職はもちろん地元に残って欲しいという気持ちはあるが、一度県外などに出て一人暮らしをして大変さをなど良い体験をした後、地元に戻ってくるといふこともあってもよいですね。

オブザーバー生徒：昨年 2 月の 3 学科の研究発表会では、生産技術科と産業技術科ではすごいことをやっているんだなと実感した。学校行事を今後も楽しんでいきたい。

(8) 自由討議

特になし。

6 その他

【委員 E】 Q：以前は学校評議員会だったようだが、それは無くなったのか。学校運営協議会に変わったのか。

A：その通りで、学校評議員会は無くなり、学校運営協議会となりました。

学校評議員会は、御意見番的な存在だったが、学校運営協議会はそれとは違うものとなります。

副校長：第 2 回の学校運営協議会は、規約により 8 月～11 月の開催となります。

7 閉会の言葉（副校長）